

2024年3月定例会の特徴、反省点ならびに議会改革課題について

2024年4月15日（月）

提出委員：会派・友和（奴間健司）

1 定例会の特徴

- ①新議会になって初めての予算審査を行った。
- ②田辺市長は 2024 年度施政方針を読み上げた。施政方針の公表の時期、施政方針と予算案の提案理由の説明との関係は今後の検討課題と言える。
- ③2024 年度一般会計、各特別会計、企業会予算をすべて原案通り可決した。
- ④第 4 号議案（定年例外規定）は反対 4、賛成 13、第 13 号議案（一般会計予算）と第 19 号議案（一般会計補正予算第 8 号）は反対 3、賛成 14 という結果であった。賛否がある程度わかれた議案について論点を整理し振り返る必要があるようだ。
- ⑤予算審査特別委員会の委員長を奴間が担った。予算審査の意義、質疑の方法、討論の在り方等について議会全体で研修を積み重ねる必要があると考える。

2 定例会の反省点について

①本会議

ア) 本会議（1 日目、2 月 21 日）

- a.施政方針演説は約 43 分かかった。内容の大半は予算に盛り込まれた事業の説明になっている。市政を取り巻く内外情勢と市の課題、市政運営の基本方針、まちづくりの最優先課題、財政運営の基本方針等が明確ではないのが残念である。
- b.一般会計、各特別会計、企業会計の当初予算の提案理由について、「施政方針演説をもって省略する」という運営をしてきたが、見直す必要があると判断する。

イ) 本会議（2 日目、2 月 27 日）

- a.7 名（松島、結城、井之上、森本、大賀、今井）が施政方針に対する質疑を行った。施政方針に触れていない事項についてそれぞれ質疑を深め、今後も検証が必要なテーマが明らかになった。
- b.議案に対する大綱質疑を 3 人が行った。森議員が第 6 号と第 13 号、今井議員が第 9 号と第 10 号、奴間が第 13 号と第 19 号に対し質疑した。当初予算、補正予算の提案理由の説明が不十分なことから、大綱質疑を活用し論点を明確にした方が良いと考える。

ウ) 一般質問（3 月 14 日・5 人、15 日・4 人、18 日・4 人）

- a.13 名（井之上、森、古賀、紙谷、秋山、大隈、秋吉、大賀、村松、今井、奴間、福崎、平木）が一般質問を行った。
- b.3 月定例会での一般質問は、施政方針や当初予算を意識したものになる。13 名の質問を通じていくつもの論点が浮き彫りになった。今後のフォローが大切と考える。
- c.議案審査や予算審査並びに所管事務調査で質疑・調査すべき事項を一般質問で取り上げることにについては若干の疑問を抱く。それぞれの質疑・調査をしたうえで、大所高所から

議員主導で市長に質問・提言するという問題意識が求められていると考える。

エ) 最終日 (3月22日)

a. 延べ23名が討論を行った。

討論は反対、賛成の理由を明確にすることで同僚議員の賛同を得るという基本的な意義がある。

各議員の立場を明確にするということも大事だが、仮に反対なら否決に追い込むために賛同を得るという根拠と覚悟が求められる。

逆に賛成なら可決するために賛同を得るという根拠と覚悟が求められる。賛成討論では執行部に対し執行にあたっての留意点を伝えるという効果を追求するケースもある。しかし、その効果はほとんど期待できないのであり、議会の総意として指摘事項を取りまとめ議長名で市長に提出することが必要不可欠と判断する。

議案名	反対討論	賛成討論	採決結果 (欠席1)	
			反対	賛成
第4号・定年制特例	3名(今井、村松、秋吉)	0名	4	13
第6号・介護保険料	1名(今井)	1名(大賀)	1	16
第7号・子育て会議	0名	1名(森)	0	17
第9号・水道給水	1名(今井)	0名	1	16
第13号・一会予算	3名(今井、村松、秋吉)	3名(森、大賀、大隈)	3	14
第16号・介護予算	1名(今井)	2名(大賀、森本)	1	14
第17号・水道予算	1名(今井)	1名(大賀)	1	14
第19号・一会補正	3名(今井、村松、秋吉)	2名(大賀、奴間)	3	14
	延べ13名	延べ10名		

b. 第41号議案 令和5年度古賀市一般会計補正予算(第9号)が追加提案された。

②常任委員会(市民2月28日、総務2月29日、文教3月1日)

ア) 総務 4議案を可決したが、第4号議案(定年例外規定)は賛成多数。

文教厚生 2議案を可決したが第6号議案(介護保険料)は賛成多数。

市民建産 5議案を可決した。3議案を審議、全て可決。

イ) 文教では生涯学習推進課からクロスパルこがでの死亡事故(2月28日発生)について報告があり質疑を行った。

総務では2024年度の人事交流(社協)や機構改革(交通政策係)、コガバスの契約解除問題について報告があり質疑を行った。

会期中の委員会での所管事務調査の調査結果については最終日本会議で報告するようルール化することが望ましいと考える。

③補正予算審査特別委員会（3月4日）

- ア) 説明の最初に議案の条文を読みあげた。2月21日の本会議で提案理由の説明を終了しているので、条文読み上げは不要と考える。委員会での詳細説明の在り方の改善も含め検討すべきと考える。
- イ) 一般会計に対し9名（平木、大隈、紙谷、森本、秋吉、森、今井、村松、奴間）が質疑した。
- ウ) 討論、採決の状況。反対討論を秋吉、今井の2名が行い、賛成討論を奴間1名が行った。採決の結果、反対3、賛成14で可決とした。宮地岳線跡地整備に関する前倒し補正が反対の論点となった。

④予算審査特別委員会（3月6日、7日、11日、12日、19日）

- ア) 説明の最初に議案の条文を読みあげた。2月21日の本会議で提案理由の説明を終了しているので、条文読み上げは不要と考える。委員会での詳細説明の在り方の改善も含め検討すべきと考える。
- イ) 質疑の状況。右表参照。
- ウ) 今回は奴間が委員長を務めた。議会事務局の協力で質疑の中で記録にとどめるべき点を整理した。委員長報告に反映させたが、今後のフォローに活用されることを期待する。
- エ) 5日間かけて質疑したが、議会としては原案通り可決しており、修正や附帯決議はなかった。仮に減額修正が必要と判断した場合、委員会での質疑が終了した3月12日から討論・採決を行う19日までの間に修正案の作成と理解を得るための働きかけが必要となる。また、最終日に議員提案を行おうとすると予算審査特別委員会終了から最終日本会議までに2営業日以上確保する必要がある。今回の場合ではぎりぎりの日程となっている。決算審査に向けて委員会の日程を再検討する必要があると考える。
- オ) 今回は市長質疑がなかった。市長質疑の対象は現在まで一般会計となっているが、今後は各特別会計、企業会計も踏めた方が適切だと考える。
- カ) 予算・決算審査の在り方について議会全体で研修を積み重ねる機会を作りたい。

	人数	件数
2 款総務費	9	39
3 款民生費	7	18
4 款衛生費	5	11
5 款労働費	3	3
6 款農林水産費	4	6
7 款商工費	5	9
8 款土木費	6	17
9 款消防費	3	5
10 款教育費	14	14
歳入	4	7
一般会計計	60	129
国保	4	7
介護	3	6
水道	4	5
下水道	2	2
特別会計計	13	20

⑥JR 古賀駅周辺開発調査研究特別委員会（3月5日）

- ア) 最終報告の取りまとめ。
- イ) 最終日の本会議で最終報告を行い、特別委員会は解散された。

3 議会改革の取組みについて

- ①委員会会議録を議会ホームページにアップする件について
- ②常任委員会のインターネット中継配信を行う件について
- ③その他